

平成29年12月10日号 (第180回)

# 阿伎留通信

公立阿伎留医療センターは、医の心を重んじ、患者の生命と健康と生活の質を考える良質の医療を実践し、地域医療の最適化に努力します。

今年も残りわずかとなり、街はクリスマスのイルミネーションがまぶしい季節になりました。年末になると、クリスマスや忘年会など、楽しいイベントが増えていきます。集団で飲食する機会が増えるこの時期は、急性アルコール中毒も含めて飲酒関連の救急搬送も増える時期です。節度をもって、楽しく新年を迎えられるようにしたいですね。



今回の阿伎留通信は、

## — 「手術室のご紹介」 —

をテーマに外来看護科の坂口 康広 看護師長よりお話しさせていただきます。

### ・手術室のご紹介

当医療センターの手術室は5部屋あり、空調管理されたとても清潔な環境です。手術室看護師は、手術中に医師が指示する器械や機材を迅速且つ正確に手渡し、手術が安全かつ円滑に行われるようにサポートしています。

また当院では手術を受ける患者さんやご家族に対して術前、術中、術後訪問を行っています。術前訪問では患者さんの状態を知り、患者さんに合わせた手術を行えるようにヒアリングします。術中訪問では、ご家族に対し手術の進行状況などをご説明し、不安解消に努めています。そして術後訪問では、術後の患者さんの経過を知り、今後の看護業務の向上に活かしています。



他にも手術待合室をより快適な環境となるように整備をするなど、安心できる心のこもった看護の提供を行っています。



(左：手術室ホール　右：手術室)

### ・手術室と実績

麻酔科医師が担当する手術（全身麻酔等を用いた手術）は主に外科、整形外科、産婦人科、泌尿器科、脳神経外科、耳鼻咽喉科、呼吸器外科、乳腺外科、歯科口腔外科等があります。最近では腹腔鏡・胸腔鏡等の内視鏡を用いた手術により、患者さんの負担が少ない手術が増えています。また傷口を小さく切る手術も増えて、これまでよりも早く退院することが可能になってきています。

局所麻酔下での手術を実施する科には、主に眼科、形成外科、皮膚科があります。年間手術件数は1,200件前後で年々増加しています。

### ・手術室看護師より

私たちの役割は、患者さんの安全を守り、手術が円滑に遂行できるように専門的知識と技術を提供することにあります。患者さんに質の高い手術医療を提供するために手術に携わるチームメンバーが役割を発揮できるように手術看護を実践しています。

手術室は病院の中で最も多職種・多数の医療スタッフにより医療行為が実施される場であるため「患者さんの安全」という共通の目的を持ってチーム医療を実践しています。

阿伎留通信については、第1回から最新号まで、公立阿伎留医療センターのホームページで御覧になることができます。ホームページアドレス(<http://www.akiru-med.jp>)